

機械器具 12 理学診療用器具
一般医療機器 再使用可能な止血帯 17230000

再使用禁止

C-A-T ターニケット

【警告】

- 救急救命の訓練を受けた上で使用すること
[不適切な使用を引き起こす可能性がある]
- 2時間以上連続して使用すると、神経または筋肉に不可逆的な損傷を与える可能性がある
- 使用後はできるだけ早く創傷部位の再評価を行い、適切な治療を行うこと
- 血液や体液で汚染された場合は廃棄すること
[交差感染の可能性がある]
- 本品を解除する際は、血圧の急激な低下、不整脈の誘発等のリスクを伴うため、原則、医療の管理下で行うこと
- 小児以下に対して使用しないこと
- 装着状態を定期的を確認すること[再出血やうっ血の可能性]

【禁忌・禁止】

- 製品を改造・分解しないこと [本品の原理に記載された機構が動作しなくなる可能性がある]
- 再使用禁止 [インターナルバンドに不具合が発生する可能性がある]

【形状・構造及び原理】

1. 外観図



番号	名称	機能または動作
①	シングルルーティングバックル	帯の長さの調節
②	ウインドラスロッド	インターナルバンドの締め付け
③	ウインドラスクリップ	ウインドラスロッドの固定
④	ウインドラスストラップ (タイムストラップ)	ウインドラスロッドの脱落の防止、装着時間の記入
⑤	スタビライザープレート	装着時の安定性の向上
⑥	エクスターナルバンド	帯の操作、固定
⑦	インターナルバンド	締め付けによる血流の遮断

1.1 カラー



ブラック

自衛隊、警察、
その他法執行機関向け



オレンジ

病院、消防、EMS 関係機関向け



ブルー

トレーニング用

※性能や原材料に違いはない

2. 寸法

部位	サイズ (mm)
パッケージ状態	165 x 61 x 38
エクスターナルバンド	40 x 952
ウインドラスクリップ	25 x 65
ウインドラスロッド	13 x 146
シングルルーティングバックル	47 x 30

3. 原材料

番号	名称	原材料
①	シングルルーティングバックル	ナイロン樹脂 (ナイロン6)
②	ウインドラスロッド	ナイロン樹脂 (ナイロン6)
③	ウインドラスクリップ	ナイロン樹脂 (ナイロン6)
④	ウインドラスストラップ	ナイロン、ベルクロ
⑤	スタビライザープレート	ナイロン樹脂 (ナイロン6)
⑥	エクスターナルバンド	ナイロン糸、ポリアミド、 ポリウレタン
⑦	インターナルバンド	ナイロン糸、ポリアミド、 ポリウレタン

4. 原理

本品は、ナイロンとベルクロで構成された締め付け用の帯、ナイロン樹脂製のストラップ、ロッド、固定用クリップ等から構成されている。締め付け用の帯の内側に、もう1つの帯（インターナルバンド）が通っており、これがロッドに接続されている。

四肢に生命を脅かす出血を伴う外傷が発生した際に、腕または脚に装着し、ロッドを回転させることで、接続されたインターナルバンドが締め付けられ、血流を遮断する。

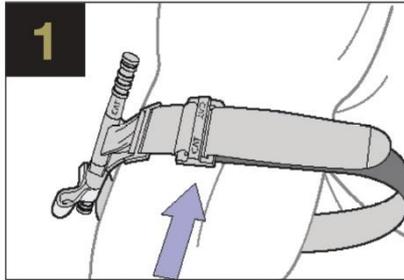
【使用目的又は効果】

上下肢（腕又は脚）に装着して、循環の抑制及び遠位部への正常血流を遮断する。

【使用方法】

1. 出血源が判明している場合

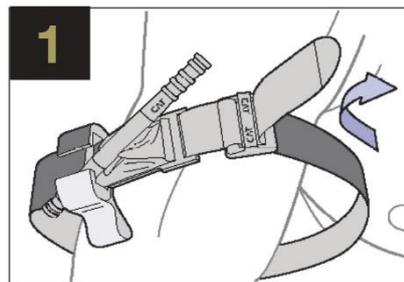
(1) 《片手で操作する場合》



片手で操作する場合は、あらかじめバックルにバンドを通した状態で収納しておく（【保管方法及び有効期間等】1.1 収納方法に記載）。

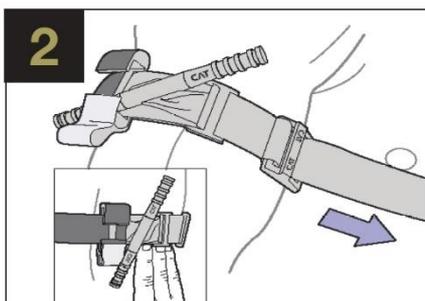
負傷した手足をバンドのループに通し、止血帯を出血部位の5～7.6 cm 上の皮膚に直接適用する。

《両手で操作する場合》



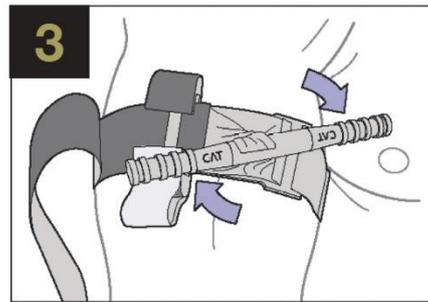
バンドを手足の周りに回し、先端をバックルのスリットを通して、出血部位の5～7.6 cm 上の皮膚に直接適用する。

(2)



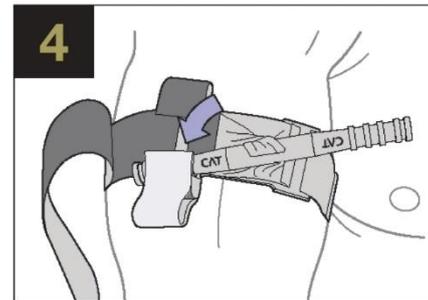
バンドを強く引っ張り、ウインドラスクリップを超えないように、手足の周りを回して締め付ける。この時、3本の指がバンドと手足の間に入りこまない程度に締め付ける必要がある。3本入る隙間がある場合は、締め直して再度固定する。

(3)



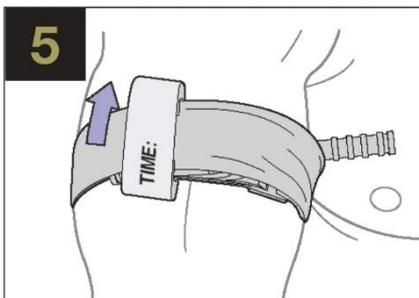
出血が止まるまでロッドを回す。止血効果の確認は、目視での出血確認、または橈骨、足背動脈の触知、パルスオキシメーター等で行う。

(4)



ロッドをウインドクリップの内側に入れ、位置を固定する。出血が続く場合や遠位脈がある場合は、更にきつく締めるか、もう1つの止血帯を追加する。追加する場合は、最初に適用した場所の上に使用する。その後、再度創傷部位を確認する。

(5)



バンドをクリップの間からロッドの上に通す。ロッドとバンドをタイムストラップで固定する。固定した後、装着した時刻を記入する。

2. 出血源が不明な場合

状況により、出血源が不明な場合や、確認する時間がとれない場合は、手足のできるだけ中枢側にある衣服の上から適用する。衣服内の固形物の上に適用してはならない。状況が許す限りすぐに、負傷した手足を評価し、負傷部位の5～7.6 cm 上に再配置する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) 本品は生命を脅かす出血を制御することを目的としている。適用する必要がある手足への使用は、四肢の切断や神経障害のような合併症を引き起こす可能性がある。
- (2) 本品は止血帯を使用した救急救命の手順について、適切な知識をもった医療従事者、救急救命の訓練を受けた者、またはこれらの専門家の指導下にいる者が使用すること。
- (3) 本品の最大動作円周は約 89cm であることに留意すること。
- (4) 傷病者を保温することにより本品が隠れる場合、トリアージタグ等に装着していることを示すこと。
- (5) 四肢の断端（出血部）の止血の状態を経時的に観察すること。
- (6) 止血を行う際には、標準予防策を行った上で実施する。
- (7) 交差感染の可能性があるため、血液、体液等で汚損の場合は廃棄すること。
- (8) 本体に悪影響の生ずる恐れのない場所に保管すること。
- (9) その他の注意事項は警告、禁忌・禁止の項を参照すること。

2. 不具合・有害事象

発生の可能性があり、治療が必要とされる不具合および有害事象を以下に示すが、これに限られるものではない。

➤ 不具合

不適切な使用による器具の動作不良、破損

➤ 有害事象

【装着中】

圧迫に伴う疼痛、末梢部の阻血

【解除後】

再灌流による不整脈、または心停止、神経障害、深部静脈血栓症、筋力低下

【その他】

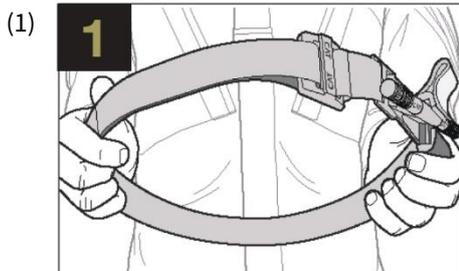
長時間の使用による四肢の切断、神経障害

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

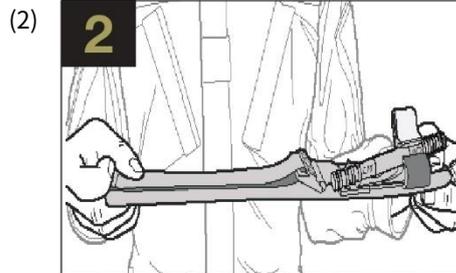
水濡れに注意して、直射日光及び高温多湿をさけて常温で保管すること。

1.1 収納方法



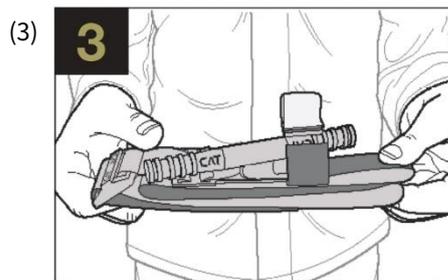
バンドの先端をバックルのスリットに通す。

バンドを 20 cm 引き出し、折り返してバンドをベルクロに貼り付ける。



バンドで形成された輪を平らにする。

この際、平らにしたバンドの中央にバックルが配置されているようにする。



バックルが端になるように、半分に折る。

タイムストラップが図のように開いた状態になっていることを確認する。

この状態でポーチに収納する。

2. 有効期間

本品に有効期間の表記はないが、保管方法の項に記載されている条件で適切に保管し、定期的に状態を確認すること。劣化が確認できた場合は、廃棄すること。

【保守・点検に係る事項】

- (1) 血液、体液等で汚損の場合は廃棄すること。
- (2) 長期保管する場合は、器具に劣化がないか、機能に問題がないか定期的に確認すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

1. 製造販売業者

株式会社オーストリッチインターナショナル
〒222-0033
神奈川県横浜市港北区一丁目14番地20
光正第2ビル 301
電話：045-470-9041 (代)
F A X：045-470-9043

2. 製造業者

C・A・T Resources, LLC (アメリカ合衆国)